



「天空の城」や「光の洞窟」、一度は見たい感動絶景がズラリ！ 『じゃらん』まるで別世界！秋に見るべき絶景ランキング

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が発行する旅行情報誌『じゃらん』は「秋が見頃の絶景スポット」に関する調査を行いましたので、その結果をお知らせします。なお、本内容は旅行情報サイト「じゃらんニュース」でも紹介しております。

<https://www.jalan.net/news/article/757042/>

■ 『じゃらん』まるで別世界！秋に見るべき絶景ランキング

順位	名称	都道府県
1	竹田城跡	兵庫県
2	仁淀川	高知県
3	湯田貯砂ダム	岩手県
4	清水溪流広場（濃溝の滝・亀岩の洞窟）	千葉県
5	備中松山城	岡山県
6	新舞子海岸	兵庫県
7	鳴門海峡の渦潮	徳島県
8	大田子海岸	静岡県
9	国営ひたち海浜公園	茨城県
10	千畳敷カール	長野県

まだまだ残暑厳しい中でも、少しずつ秋の気配を感じる9月。そんな今だからこそ楽しめる絶景が日本各地にはたくさんあることをご存知でしょうか。そこで今回は「秋に出会える旬絶景」についてアンケートを実施しました。1位は兵庫県「竹田城跡」。“日本のマチュピチュ”ともいわれる天空の城の代表的存在として、数年前から注目を集めているスポット。その幻想的な雰囲気はまさに別世界のような美しさ！続く2位は高知県「仁淀川」。青く透き通る“仁淀ブルー”は、9月により一層美しさが増すのだとか。そして3位にはライトアップが魅力的な岩手県「湯田貯砂ダム」がランクイン。そのほかTOP10には、夕陽に紅葉、渦潮などバラエティー豊かな秋絶景が並ぶ結果となりました。

日本の秋は、季節の花や紅葉をはじめ多くの絶景が楽しめる時期。秋を感じる最高の景色に会いにでかけてはみてはいかがでしょうか。秋のお出かけ計画に、ランキング情報をぜひ参考にしてください。

【調査概要】インターネット調査／調査時期：2023年7月28日（金）～2023年7月31日（月）調査対象：47都道府県在住20代～50代／有効回答数：1,035名／複数回答（『じゃらん』掲載情報を中心にピックアップした絶景スポットの中から、まるで別世界だと思うスポットを3つまで選択）

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■ 『じゃらん』 まるで別世界！秋に見るべき絶景ランキング：トップ 10 を紹介

1 位：竹田城跡【兵庫県】

“日本のマチュピチュ”ともいわれる天空の城の代表格！竹田城跡は、標高 353.7m の古城山の山頂から眼下を見渡せる絶好のロケーションにあります。9 月から 11 月頃の良く晴れた朝には周辺に濃い霧が発生し、その朝霧に囲まれた様子が、まるで雲海の中に城が浮かんでいるように見えることから“天空の城”としていまもなお注目を集めている。



画像提供：吉田 利栄

2 位：仁淀川【高知県】

高知県のほぼ中心を流れ、青く透き通ったその美しさから“仁淀ブルー”として知られる仁淀川。国土交通省が実施する全国の一級河川水質調査で 2010 年から 10 年間で 8 回も 1 位に選ばれたほど！上流域には独特の青色に輝く絶景スポットがあり、時間帯や光の角度で変化する色彩の違いも魅力。特に 9 月中旬頃がもっとも美しく見えるそう。



3 位：湯田貯砂ダム【岩手県】

岩手県西和賀町にあるダム。「錦秋湖大滝」は、数メートルの高さから落下する水がカーテンのように見える絶景スポット。ダムの水位が低下する 7 月～10 月上旬に見られ、ダムの堤体内から見学することも可能。9 月 11 日までは虹色、9 月 12 日～10 月 9 日は秋をイメージした 3 色（朱・山吹・黄）にライトアップされ、残暑厳しい季節でも涼やかなひとときを過ごせる。



4 位：清水溪流広場（濃溝の滝・亀岩の洞窟）【千葉県】

まるで物語の世界のような小さな滝が流れる光の洞窟。その洞窟に差し込む太陽の光がスポットライトのように滝を照らし、水面に反射して横向きのハート形を描く様が見られると SNS でも話題のスポット。1 年の中で特にこのハート形が美しく見えるのが 3 月と 9 月のお彼岸前後。良く晴れた日の早朝がねらい目のこと。※現在、ハート形が見やすい洞窟正面付近は崩落の危険があるため立入禁止となっています。ご注意ください。



5 位：備中松山城【岡山県】

江戸時代以前からの現存天守 12 城のひとつで、国指定重要文化財に指定されている唯一の山城。「日本三大山城」にも数えられ、秋には雲海に浮かぶ幻想的な姿を望むことも。雲海は 9 月下旬～4 月上旬の明け方 5 時半・6 時頃から 8 時頃までが見頃。なかでも 10 月・11 月は比較的発生率が高く、濃い雲海が期待できるのだとか。



6位：新舞子海岸【兵庫県】

瀬戸内海国立公園内に属する景勝地で関西随一の遠浅海岸。干潮時には浜辺から約500m、東西約1.5kmの広大な干潟が現れ、春には潮干狩り、夏には海水浴でにぎわうスポット。ここでは、秋から冬の夕刻に条件が揃えば、一面がオレンジに染まるリフレクション絶景を見られると近年SNSで話題に。まるでウユニ塩湖のような一枚が撮れるかも！



画像提供：たつの市

7位：鳴門海峡の渦潮【徳島県】

渦潮は、瀬戸内海と紀伊水道の干満差から、激しい潮流が発生することによりできる自然現象。見るタイミングによって渦の大小もさまざまですが、春と秋の大潮時が最大級の渦が見られるシーズン！9月から11月は直径20～30mにも達する、世界一の大きさといわれる渦潮が見られるチャンス。渦の道や観潮船からダイナミックな絶景が楽しめます。



8位：大田子海岸【静岡県】

大田子海岸の夕陽は、田子島やゴジラ岩などの奇岩とのコントラストが美しく、「日本の夕陽百選」にも選定。「日本一の夕陽のまち」を掲げる西伊豆町の中でも屈指の夕陽スポットです。春分・秋分の日の前後が、沖にある島の間に夕陽が沈む様子が見られるベストな時期。波音を聞きながら、刻々と変化する絶景を楽しむことができます。



9位：国営ひたち海浜公園【茨城県】

約215haの広大な敷地に美しい花々が咲き誇る自然美豊かなスポット。コキアが紅葉する見頃は10月中旬、約3万3,000本が色鮮やかに紅葉します。まん丸でモコモコした見た目もとてもかわいらしく、あたり一面が赤の世界に染まる光景は見応え抜群！コキアの色が赤から黄金に変化するグラデーションも美しいのでお見逃しなく。



10位：千畳敷カール【長野県】

標高約2,600mの中央アルプスに広がる絶景スポット。標高の高さから秋の訪れも早く、紅葉は9月下旬から色づき始め、一足先に秋を感じられるのも魅力。さらに紅葉の時期は、白い岩肌と赤・黄・橙など鮮やかな色が織りなす景色も圧巻。地上約120mを進むロープウェイから楽しむ、パノラマ絶景と紅葉の空中散歩もおすすめ。



※紹介している内容は 2023 年 9 月 1 日時点の情報です

※本ランキングをご紹介いただく際は、必ず下記クレジットを記載してください。

「じゃらん まるで別世界！秋に見るべき絶景ランキング」

※おでかけの際には、ホームページなどで最新の情報をご確認ください

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>